

## ～団体名の由来～

薬害の被害を受けた方々が抱えている薬害に対する様々な想いを風船(balloon)に例え、「それが忘れ去られて薬害が繰り返されることのないよう、しっかり受け止めて皆で繋ぎ、世の中に反映させていきたい。」というイメージからサークルの名称「balloons+(ばるーんず・とす)」としました。

## ～薬害とは?～

薬害の定義は決まっていますが、「医薬品の有害性に関する情報を、加害者側が軽視・無視した結果、社会的に引き起こされる人災的な健康被害」(片平・彦氏)という考え方が一般的です。

薬害に共通しているのは、医療提供側が安全性を無視して利潤を追求したために、大きな副作用があると分かっているながらそのことを患者に正しく伝えず医薬品を使用させてしまった、という背景があるということです。

薬害は、医療提供側が患者のことを第一に考えてさえいれば、未然に防ぐことのできた被害、つまり、“薬の副作用被害”ではなく“人災的な健康被害”と言えるのです。

## 心頼医療とは?

「患者が安心して心から頼ることの出来る医療」という意味の造語です。私たちが、被害者の方と一緒に考えて作りました。

balloons+では、活動を応援して下さる皆さまからの支援金を募集しております。

ご支援いただいたお金は balloons+の活動資金に充てさせていただきます。

皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。詳しくはHPをご覧ください。



HP : [balloonstoss.otogirisou.com](http://balloonstoss.otogirisou.com)

Blog : [balloonstoss.blog.fc2.com](http://balloonstoss.blog.fc2.com)

Email : [balloons.toss@gmail.com](mailto:balloons.toss@gmail.com)

Twitter : @balloons\_toss

HP



Blog



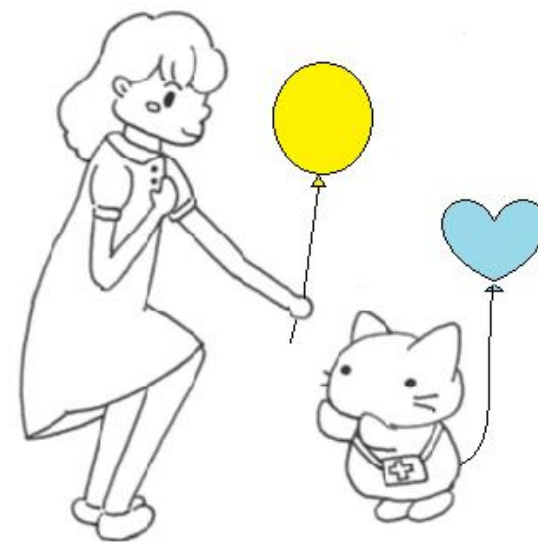
Email



薬害被害者支援サークル



～薬害被害者を支え、  
薬害の根絶と心頼医療の実現を目指す～



# 薬害被害者を支え、

## 薬害根絶と心頼医療の実現を目指す

### ～balloons+とは?～

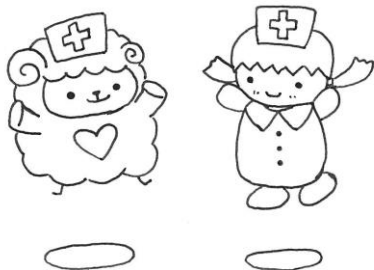
balloons+(ばるーんず・とず)は宮城県仙台市を拠点に薬害の解決に取り組む学生サークルです。これまで、実際に被害を受けられた方との交流や実態調査を重ね、2014年の春から本格的に活動を開始しました。

被害者の生活に寄り添いながら、薬害被害を無くし、本当に信頼できる医療を追究していきます。

### ～立ち上げの経緯～

はじめは現メンバーの一人が大学の講義の中で薬害に触れたこと。

薬害の被害実態の調査を行う中で、被害の大きさや薬害の残酷さを目の当たりにした私たちは、今後の社会を担う一学生として、薬害問題が他人事とは思えず、自分たち自身がその問題と向き合っていかなければ、と考え、サークルの建設に踏み切りました。



### ～活動理念～

- ①薬害被害者の立場に立つ。
- ②被害者に寄り添い、生活の中から社会的尊厳を確立し、人間の力強さを引き出す。
- ③社会的差別に反対し当事者間の連帯と立ち上がりを作り出す。
- ④被害者と支援者が共同し、二度と薬害を起こさない医療と社会の実現を目指す。
- ⑤被害者が安心して暮らせる社会を実現する。

### ～活動内容～

#### 子宮頸がんワクチンの副反応

2015年春から1年間病院訪問し、副反応の治療を行う女の子を対象に院内レクリエーションを重ねてきました。前年度からの活動に加え、問題の社会的理解を高めるために企画等を通し、普及活動に取り組めます。

#### ステロイド皮膚症

アトピー性皮膚炎などの治療に使用されるステロイド剤が原因の「ステロイド皮膚症」に悩む方どうしが交流し、問題の解決に向けて協力できる場として一般市民でつくるサークルのサポートを行っています。

### ～活動実績～

#### 2014年

- 8月 子宮頸がんワクチン講演会開催
- 12月 安全なお産を考えるセミナー交流会開催

#### 2015年

- 8月 座談会『子宮頸がんワクチンについて知ろう!』開催



### ～今後の活動～

被害者の方との交流や聞き取り調査から、本来最も必要とされる生活面への支援の不足と、被害者同士のつながりがほとんどないために不安や悩みを抱え込まざるを得ない現状があることが分かりました。

そこで被害者同士のつながりから、問題の前進に向けて協力できる場づくりを行います。その取り組みの1つとして2016年からアトピー性皮膚炎の治療に不安や悩みを持つ患者さん同士の交流の場としての市民サークルの立ち上げとサポートを行っています。

また、薬害問題への理解と二度と薬害が起こらない医療と社会の実現につなげるため企画等を通して薬害問題の普及活動を行います。